

2024年12月15日

2024年12月15日

2024年12月15日

2024年12月15日

2024年12月15日

2024年12月15日

2024年12月15日

2024年12月15日

員増加設計とし、昭和三十八年（一九六三年）十一月二十四日に改築完工した。

その後山城高山岳部の管理、葦火山岳会の名義で運営し、度重なる大修理を経て、今日に至っている。

山城高山岳部と葦火山岳会

毎年十一月下旬に開催される山小屋祭には、葦火山岳会員全員に案内状を送付し、参加したOBと現役とが心の故郷「葦火荘」に集まり、過去の思い出と経験、山登りの基本的な心構えを話し合い、指導と友愛を深めている。

今日の山城高山岳部の育成、充実に努力された先生、先輩は非常に多いが、紙面の都合上、数名を掲載し、他は後日の機会にしたい。

顧問 池田茂登先生（一九三八年昭和十三年五月十九日～一九四八年昭和二十三年四月三日）山岳部の設立と葦火荘の標札作成）

顧問 澤 潔先生（一九四五年昭和二〇年七月三十一日～一九四九年昭和二十四年三月三十一日）山岳部の育成。山の書籍出版。（北山を歩くⅠ・Ⅱ）丹後半島の旅）等々。

顧問 荻野 進先生（一九六四年昭和三十九年四月一日～

一九八七年昭和六十四年三月三日）長年山岳部員と行動を共にして指導育成され、現在も小屋祭には参加されている。

元会長井上昌道（山城2回卒）（一九五二年昭和二十七年）二〇〇三年平成十四年三月三十日）

約半世紀の間、葦火会会長を勤め、組織と後輩の指導育成に活躍しております。

現在葦火山岳会員は、京三中出身者六十五名、山城高出身者は二百四十四名である。（故人を含む）

（資料提供者）

（文責）

久我 良房

井上 昌道

木村 義照

加藤 英幸



葦火荘